

市報 やまがち

2004 11/1 NO.1375

NOVEMBER
Communication Paper Yamaguchi

CONTENTS 主な内容

開館1周年
未来を刻む山口情報芸術センター
未来を担う子どもの成長を見守るまちへ



未来を刻む

開館1周年

山口情報芸術センター

山口情報芸術センターは11月で開館1周年を迎えます。開館前及び開館後1年間で、市民が自ら企画や制作に関わった催しを中心に、多くの市民にご利用いただいています。創造の種が蒔かれた1年間の歩みを、数多く実施された催しの中から、子どもも大人も楽しめる※ワークショップを中心に紹介し、今後、市民から望まれる山口情報芸術センターの役割を探ります。※参加者が体験を通じ、グループの相互作用の中で学びあい、創り出す講座の形式。

開館前のイベント以降、市民が自ら企画や制作に関わった催し(公演、レクチャー、ワークショップ、映画上映など)は52企画、延べ参加数1万3605人に上ります(10月21日現在)。企画は大きく「市民参加」「交流・創造」「学習支援」に区分され、市文化振興財団の企画のほか、山口情報芸術センター市民委員会(以下市民委員会)が企画する自主事業、市民委員会が一般市民から募る公募事業、市文化振興財団と市民委員会、特定の企画に応募したボランティアスタッフの3者による企画などがあります。

1年間を振り返り、山口情報芸術センターでの活動に参加して得たものと今後の展開、市民に感じて欲しいことなどを、事業の企画・運営に参加された方々に伺いました。

私にとつての山口情報芸術センターは自分の興味を開拓してくれる「学舎」

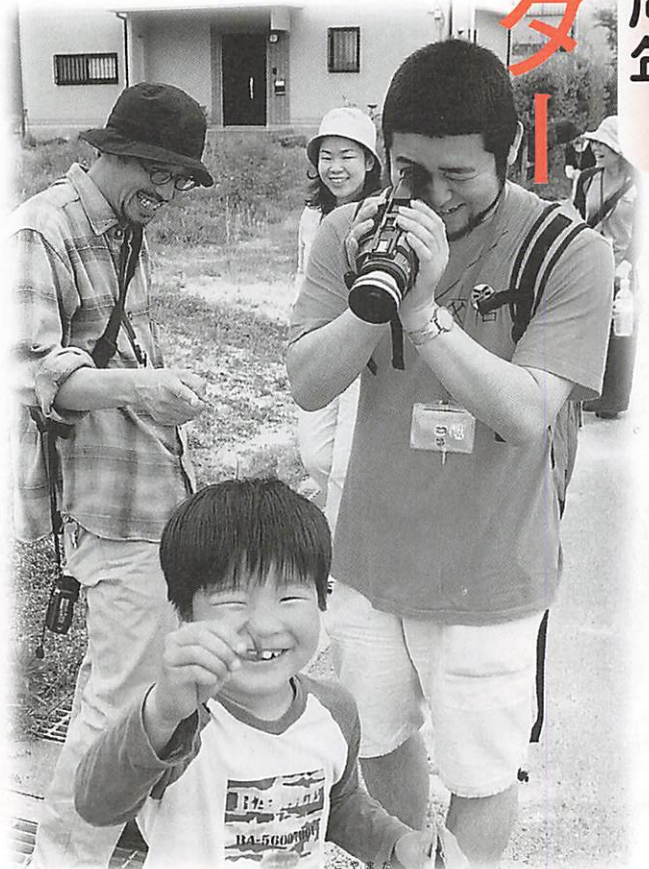
※山口アートマネジメント隊じんじんチーム 正分あゆみさん

正分さん(山口大学大学院1年生)は、平成14年4月、5月に



市内各所で行われた山口情報芸術センター・プレイベントの一環、山口アートマネジメント隊4チームの一つ、アーティストときむらとしろう(のぶ)とじんじんの「野点」(絵付けとお茶の接待)にボランティアスタッフとして参加されました。

「じんじんの人の人柄どおり、のんびりゆったりとした雰囲気の中で、その場でその時しか味わえない空間に参加者と共有しました。普段は同世代としか話す機会がない学生



山口アートマネジメント隊小山田チーム「そくらへんのコト 散歩ワークショップ」(平成16年5月)

の自分にとつて、年上のスタッフの方との活動は、吸収することが多くありました。今はサポートスタッフ(アルバイト)として、センターに関わり、将来は創作活動のお手伝いができるか、と思っています。私にとつてのセンターは「学舎」。ここでの生きた体験を通じていろいろなこと学べ、自分の興味を抱く分野が開拓されました。観るより体験する方が、絶対に面白いと思いますよ。私の場合、企画の基礎段階から関わり、アーティストと直に話せることはとても魅力的でした。芸術の情報は、スポーツなどのようにニュースで目にするのではなく、自分でアン

テナを張って集めなければなりません。センターで行われる企画に関わることでネットワークができて、情報もそこからどんどん入ってきました。センターへ足を運んでいただけでは、何かがあると思いますよ」



「野点」(平成14年4・5月)

※山口アートマネジメント隊...公募された市民が、アーティストを中心に文化・芸術活動の企画・立案から交渉・運営までを自らの手で行った企画。

山口情報芸術センターは世代を超えてアートで結ばれ、共感しあえる場ですね

※カメラオブスクラ・プロジェクト「ルチーダフレンズ」のみなさん

ルチーダフレンズは、アーティストト佐藤時啓氏とのワークシヨップや展覧会の準備、

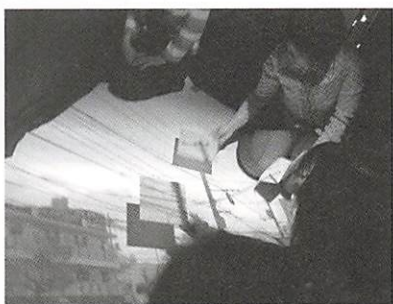


交渉、実施など一連の作業を、平成17年3月まで実践しながら体験する総勢約20人のボランティアスタッフ。市民委員会と市文化振興財団との共同企画事業「ミーツ・ジ・アーティスト・シリーズ」の「市民がアーティストと共に年間を通してじっくりと関われるアート活動」という趣旨で生まれ、両者がサポートしています。メンバーの中には、山口情報芸術センターでの他のワークシヨップ体験がきっかけで参加された、県内、福岡、大阪などからの方もおられます。

「佐藤さんが制作した『ワンダリングカメラ』は、暗いテントの中に外の映像が動きながら映し出される、私たちの想像以上に素敵なものでした。今回の活動を通して、日頃意識しない光の存在や、普段何気なく過ごしている自分たちの街も、見

方を変えると美しいことを意識するようになりました。今後も自分たちの活動により、市民に山口だけにしかない光景を『こんないいものが山口に』と発見してもらえたらいいですね。アートは難しいことではなく、日常の空間も見方によってはアートだと思えたら幸せではないでしょうか。

市民はセンターでの企画にどんどん来て欲しいですね。最初の一步はいつも難しいけれど、一度経験してしまえば全く知らなかったことも、親しみが沸くものですから。年齢差は関係ありません。お年寄りも子どももみんな同じアートの結ばれてしまえば、どの考え方も良い悪いはなく、お互いが共感しあえる場所です。子どもと一緒に参加することで、大人も成長できます」



「ワンダリングカメラ」(平成16年10月)

※カメラオブスクラ：ラテン語で「暗い部屋」の意。光の原理的な性質を利用したカメラの起源。

山口情報芸術センターは、文化・芸術活動を行う市民が上のレベルを目指せる施設

※1)市民委員会会長 富永欣也さん

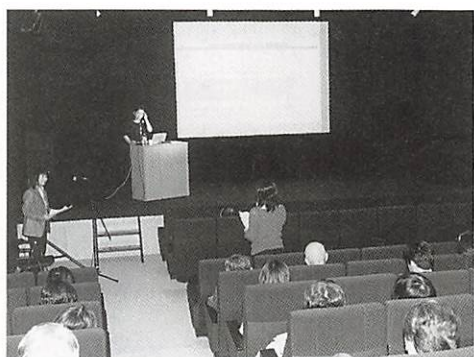


「市民委員会としては、自主的に活動するための研修を受ける時間がなく、実践しながら活動した試行錯誤の1年でした。市民委員会の役目として、

市民とセンターをいかに繋げられるかがありましたので、初めてセンターに求められたきっかけが、委員会の自主企画『増田いずみ・ポップ・オペラ』だった方がおられて嬉しかったです。また、年間を通じて開催した『メディアアリテラシー講座』は、まだ日本では授業に取り入れられていないものです。両企画とも、一般市民から選ばれた委員が企画したことと意義があります。『カメラオブスクラ・プロジェクト』を企画・運営した『ルチーダフレンズ』は、専門的な知識はありませんが『これをやってみたい』という市民の持つ発想の自由さが活かされました。

センターは、自ら文化・芸術活動の企画や制作に関わる市民が、もう少し上のレベルを目指したいと思える施設です。この点が、市全体の文化レベルを上げる上で重要だと思えます。市民がどう考え、いかに受け

止め、どう変わるかです。ホワイエで学生が勉強し、一般の方が食事を取る雰囲気は、世代が混在して他にはないものですよ。センターは今までの山口にはなかった、専門性を持ちつつ専門家以外の方も使える、創作・発表・体験の場であり、これからの芸術文化に対する前向きな建物といえます。個人的には、大人も子どもと一緒に参加し勉強できる、スポーツ少年団の文化版ができてほしいですね。『センターがあつたおかげで私は●●になった』といった人が出てくると、楽しいですね」



メディアアリテラシー講座 (平成15年11月)

※1)市民委員会：公募市民と市文化振興財団推薦の計11人の委員が、山口情報芸術センターで、市民の文化振興意識の高揚、市民の自主的、創造的な文化・芸術活動の推進のための活動されています。

※2)メディアアリテラシー：インターネットや携帯電話などの情報が流通する媒体(メディア)の本質を理解し、適切に使用する能力。

参加して得られたことはなんですか

創造

「うごくおもちゃを作ろう」

クリケットワークショップ
簡単にプログラムを作ることができるソフトを使いながら、創造性とプログラミングの基礎を同時に学びました。

【永尾勇一君（中学一年生）】

「使った『クリケット』というコンピュータのことはあまり知らなかったのですが、科学が好きで参加しました。センサーで障害物を回避する車を作ったのは、狭いところへどこでも行ければいいなと考えたからです。またこういうワークショップがあれば参加し、いろいろな体験してみたいです」



学習

「シニア向けインターネット教室」

55歳以上のインターネット未経験者・初心者が対象。講師のほかに、シニア世代のボランティアスタッフが、親切丁寧に参加者のペースに合わせて進める教室です。

【村山陽子さん（ボランティアスタッフ）】



「ボランティアスタッフといってもインターネットの長い経験はなく、受講生より少しだけ詳しい程度です。言葉だけで混乱してしまう方の気持ちも分かるので、難しい言葉は使わず、マウスの操作がしやすい優しい握り方を、一緒に握って伝えたり。生活に活用できれば目的の達成ではないでしょうか。他の方に教えることで、自分のおさらいにもなります。教えた方に喜んでもらえることは、私の楽しみです」

山口情報芸術センターオリジナル 市民参加ダンス公演 「ら抜き」

発信

オーディションで選ばれた参加者が、ワークショップと稽古の成果を披露しました。その後、他のダンスワークショップの参加者と合流し、新たなダンスユニットを結成。館内各所を使ったダンスパフォーマンスを行いました。

【新田祐子さん（大学3年生）】

「初めてのダンスとワークショップは、全てが新鮮で勉強になりました。またダンスワークショップに参加したり、ダンスを観たことがない方に向けて、パフォーマンスを企画してみたいです」



「つくれるアニメ」ワークショップ

アニメを身近な道具やしりとりりの手法で制作体験し、自然に映像の仕組みが分かるようになっていきました。

【宮田ゆかりさん（小学3年生）】

「デジタルカメラや粘土を使ってアニメが作れて楽しかった。自分で作ったアニメは、めったにないものね。ワークショップの内容も何カ月かごとに変わるから楽しい。よくお母さんと参加しているよ。教えてくれる人が私たちが思いもしなかったことを誉めてくれて、嬉しかった。センターには毎週1回行っているのだから、いつでも参加できるワークショップがあるといいな」



カメラオブスクラプロジェクト 「かぶるカメラを作る う」ワークショップ

ダンボールでいろいろな大きさのカメラオブスクラを作り、楽しい使い方を発見しました。

【原田翔太君（小学5年生）】

発見

「観るより作る方が楽しい。ダンボールで作ったカメラをかぶると、中

で見える映像は外の風景が逆さまに映り、びっくりした（光学の原理）。普通のカメラの中身も本当は逆さまに写っているんだよ。まだ参加したことがない子も、僕と同じように楽しいと思うよ。いつも何か楽しい発見があるし、いろいろなことに興味を持つようになったよ」



今まで山口では触れる機会のなかった、さまざまな新しい芸術を間近で体験することで、無限の可能性を引き出してみませんか。山口の子どもから大人までが生涯を通じ、主体的に文化・芸術に関わることがができる施設として、山口情報芸術センターは、これからもこの1年間で育んだ「創造の輪」を拡げていきます。

市立図書館も 開館1周年を迎えました

市立図書館は、誰にでも使いやすく、役に立ち、親しみのある図書館を目指すとともに、市内全域に図書館サービスが行き渡るよう、移動図書館や配本車を運行させ、各公民館とのネットワーク化等を図ってきました。9月には貸出冊数が100万冊を超えるなど、多くの皆さんに利用されています。今後も、団体貸出や図書館まつりの開催など、サービスの充実を図っていきます。



利用者数と利用状況

市立図書館・移動図書館「ぶっくん」は、その利用者数が当初の予想を大幅に上回り、1日の平均貸出冊数が約4000冊となるなど、みなさんから愛される施設へと成長してきました。

利用状況としては、本を借りるだけでなく、図書館ボランティアや職員が絵本の読みきかせを行う「おはなし会（毎週水曜日開催）」や、まんが世界昔ばなしなどのビデオを上映する「図書館ビデオ上映会（毎週土・日・月曜日開催）」も、毎回多くの親子でにぎわっています。これら定例行事の開催日は、毎月15日号市報、市立図書

市立図書館 (9月末現在)	
開館日数	250日
入館者数	528,115人
利用者登録	35,264人
貸出者数	262,835人
貸出冊数	1,042,655冊
おはなし会	1,401人
おはなしアニメ	1,312人
こどもえいが会	1,546人
図書館上映会	708人

移動図書館 (8月末現在)	
利用者数	9,147人
貸出冊数	38,256冊

館の広報紙「らいぶらりー山口」（市立図書館のほか主な公共施設に設置）、図書館のホームページ等でお知らせしています。お子さんと一緒にぜひご参加ください。

図書館サービスの充実に向けて

市立図書館では、子どもたちのよりよい読書環境の充実を図るために、市内の幼稚園、保育園、小・中学校等を対象に、一度に100冊まで、30日間本の貸出を行う「団体貸出」サービスを開始しました。

また、絵本に関心を持ち始める乳幼児とその保護者を対象に、絵本を通してふれあいを深め、子どもの読書活動を推進することを目的とした「ブックスタート体験会」などを今後計画しています（詳細は市報11月15日号に掲載予定）。このように、市民ニーズに即した図書館サービスを充実させ、市民のみなさんにより図書館を身近に感じていただけるよう、今後もさまざまな展開を図っていきます。

市立図書館開館1周年記念

図書館まつり

市民のみなさんに、より図書館に親しんでいただくことを目的に、「第1回図書館まつり」を開催します。当日は、さまざまな体験イベントを行います。お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

●内容

- ・図書館のイメージキャラクター・キャッチフレーズの決定・表彰式
- ・図書館フォーラム（利用者懇談会）
- ・おはなしひろば（絵本の読み聞かせ）
- ・ビデオの上映会「世界遺産フィルムアーカイブス」
- ・豆本づくりキッズ工房 など

●主催 市立図書館、第1回図書館まつり実行委員会（図書館協議会、図書館友の会「トネリコ」、市立図書館ボランティアの会、ぶどうの木-山口子どもと読書ネットワーク、こどもと本ジョイントネット21・山口、学校図書館を考える会・山口ネットワーク）

みんなきてね!

とき: **11月27日(土)**
10時～16時

同時開催イベント

★ブックリサイクル・フェスタ★

あなたの家に「もう見ていない」「きれいだけれど捨てようと思っている」という本がありませんか？そのような本を、必要とされている方にお譲りし再活用する「ブックリサイクル・フェスタ」を開催します。現在、提供いただける図書を受け付けていますので、ご協力いただける方は**11月19日(金)まで**に市立図書館へお持ちください（なお、保存状態が悪いものは、受け取りをお断りする場合があります）。

青少年健全育成強調月間

未来を担う 子どもの成長を見守るまちへ



未来を担う子どもたちが健やかに育ち、豊かに成長していくことは、私たちの願いです。子どもたちの健全な成長のためには、家庭や学校だけでなく、地域など社会全体で協力していくことが必要です。

■問い合わせ 市生涯学習課 (☎934-2866)

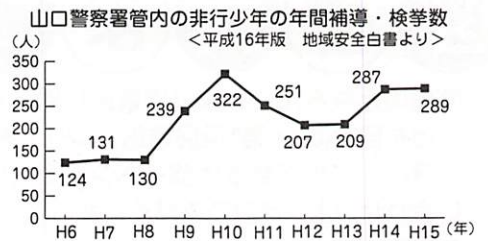
「子どもによる事件が起きると、大人が動揺してしまいがちです。一つ一つのことに揺らいでしまわず、子どものいいところ、子どもらしいところにもっと気づいていく必要があるのではないでしょう

「子どもたちを取り巻く現在の環境は、子どもたちの心にどのような変化をもたらしているのでしょうか。山口大学臨床心理学助教授であり、また、※スクールカウンセラーとして子どもたちの悩みを聞いている大石英史さんにお話を伺いました。

環境の変化と子どもの心

山口も例外ではなく、少年による犯罪件数が増加傾向にあるのは否めない事実です。

少年高齢化や情報化など子どもたちが取り巻く社会が変化しています。また、テレビや新聞報道では少年が犯した犯罪を取り上げたものをよく見かけます。山



か。子どもは変わったといわれませんが、子どもは変わっていない、いつの時代も本質(成長の条件)は変わらないと思っています」と大石さん。表面に見える最近の子どもへの傾向については、「傷つきやすく、すぐにこもりがちになってしまいう子が増えてきているように感じます。友達にさえ気を使って、『自分』が出せない。一方で、傷つけることに鈍感な子も増えてきているようです」と話されます。

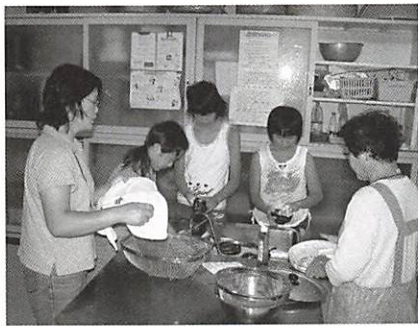
「子どもにそんな傾向があるのは人と関わることの不足が大きいのだそうです。生活が豊かになったことによる分け合ったり、協力し合う体験の減少、少子化、近所づきあいの希薄化、生活の形態の変化。昔は、いろいろな人との関わりの中でトラブルを乗り越えて、人間関係の持ち方を自然に学んでいました。今は、親と子が外へ出て行きやすい地域社会づくりが大切です」と大石さん。



山口大学助教授
大石英史さん

(※) スクールカウンセラー…定期的に学校へ赴き、生徒、保護者、教師の相談にのる専門家

未来を担う 子どもの成長を見守るまちへ

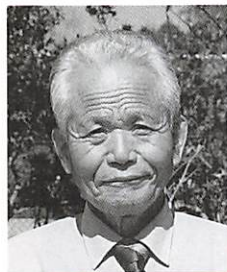


秋穂二島地区で行われた「公民館通学合宿」。親元から離れて2泊3日、地域の人に支えられ、二島公民館から学校に通いました。

現在は、携帯電話やメールなど、コミュニケーションをとる手段は増えていますが、基本はやはり顔を見ながら話すこと。「いざというとき頼れる相手がおらず、自分の気持ちや心の中にしまい込んで過ごしてきた子が、思春期の難しい時期に、今までたまってきたものを問題行動として表現せざるを得なくなるでしょう」と大石さん。

最近では、子どもが事件を起こすとすぐ、「親が」「学校が」といわれがちです。大石さんによると「親や教師に責任を求めることによって子どもと関わることに自信をなくし、追いつめられて、子どもをきつくしかったり、虐待が起ったりと、悪循環になっていくのです」。

事件が起きても悲観的に考えるのではなく、子どもが健やかに成長できる環境づくりを考える必要があるのではないのでしょうか。



湯田地区ふるさとづくり推進協議会
会長 松永正己さん

地域で支える

子ども時代に、自然とふれあったり、社会活動に参加したり、普段の生活とは違った体験をするのは、心の成長の糧となり、とても大切なことです。市内では、各地区の公民館を拠点に、さまざまな活動が行われています。湯田地区ふるさとづくり推進協議会の松永正己さんにお話を伺いました。

子どもは経験で学ぶ

湯田地区が行う「わんぱく・ふれあい里山づくり」では、年に2回、子ども会やPTAなどの団体が集まって、里山の清掃活動を行い、自然の中で自由に遊べる広場をつくっています。「子どもは遊びの天才ですから、大人が『あしろ、あれをしてはいけない』などと言わないでも、自分たちで遊びを見つけてます」と松永さん。大人が手助けをするのは、道具の使い方や危険を防ぐ方法を教えることだけだとか。「子どもは、何事も実際に経験し、失敗して学んでいきます。だから、大人は見ているや



湯田地区で行われた「わんぱく・ふれあい里山づくり」。みんなが遊べる里山をきれいに清掃しました。

年代を越えたふれあいに。

「おじいちゃん、おばあちゃん」と交流することでいろいろなことを学んでほしいです。たとえば、お正月にしめなわづくりなどを毎年するので、どうしてしめなわや門松を飾るのかといったことや、材料となる稲を作ることも一緒に話し、日本の文化や農業のことについても学んでくれますね」と松永さん。また、学校では同じ学年の子どもと遊ぶことが多くなりますが、年代の違う子どもとも友達になれます。「お兄さん、お姉さんに教えてもらえるのは、甘えることができるのか、うれしそうですよ」。こういった体験は家の中ではできないこと。子どもたちが積極的に地域活動に参加して学んでほしいものです。



大殿地区で行われた「サバイバルキャンプ」。ご飯を入れる器を作ったり、自然の中で遊び、手作りテントを作り、生きる力を身につけました。

子どもと一緒に「場」づくりを

「大人は、人や自然とふれあえる『場』づくりをすることが必要。もちろん、子どもをお客として扱うのではなく、子どもと一緒に、自然や地域とふれあえる環境を作っていくべきです」と松永さん。

また、市内の全域で「おはよう」と声をかけるあいさつ運動が広がっています。「最近では、知らない人とは話してはいけないという世の中になってきていますが、地域の人とはたくさん知りあって、自然と声をかけあってほしいですね。そして、地域の活動、社会奉仕活動で頑張った子はほめてあげること。それは、子どもにとってももうれしいことで、これからの励みになることですからね」と話されます。

地域の人の声に、子どもたちはきくと何かを感じ取ってくれるはず。

未来を担う 子どもの成長を見守るまちへ



7月に光青年の家で行われた研修会。子どもたちは違う学校の子と友達になったり、カヌーに乗ったり、貴重な経験ができたようです。

活動している子どもたち

実際に活躍している子どももほんなことを感じているのでしょうか。ジュニアリーダーズクラブ「かんとりーきつず」の村上恵介君にお話を聞きました。

一番に感じるのは楽しさ

「かんとりーきつず」は、山口市子ども会の中の組織の一つで、現在12人の高校生が、子どものためのイベントのプログラムづくりや当日の子どもの世話などを行っています。「ジュニアリーダーをやっている一番に感じるのは『楽しい』ということ。もちろん大変なこともありますが」と村上君。「研修会するとき、コミュニケーションがとれず、みんなと一緒に活動しない子がいたんです。どうなるかなと気にしていたのですが、最後には、みんなと楽しそうに活動していたんです。短期間にそんな成長を見るとすごくうれしいですね」。



ジュニアリーダーズクラブ「かんとりーきつず」、野田学園高校2年生 村上 恵介君

人とのつながりを大切にしたい

吉敷地区の子ども会でも活躍している村上君。小学生の職場体験をしたときは、お店を決めるのも、お店へのお願いも、すべて子どもたちの手で。「僕は小学生の子が行き詰まったりしたときに、後押しをする役目。吉敷地区の子ども会では、なるべく大人の手を借りず頑張っています」と頼もしい一言。「他にも吉敷地区の鳳凰太鼓に参加しているので地域の大人の人と関わることができ、幅広い年代の人とふれあい、とてもいい経験をさせてもらっています。人とのつながりで、声をかけてもらい、勉強させてもらっています。ジュニアリーダーは中学生の時、太鼓は高校生になって始めたのですが、人と関わるのにこんなきっかけもあるんだと気づきました。これから、もし引越して、1年に何回かしか帰ってこれないとしても、今あるつながりを持ち続けたいです」と笑顔で話してくれました。

市の取り組み

市では、各地区で行われている子どもと大人がふれあえる活動を支援するほか、子ども、親への相談支援体制を整えていきます。

今年度から、中学校卒業後、就職・就学していない青少年を対象に、「夢つなぐ未来 ほっとワーク事業」に取り組み、活動体験や職場見学を通して、自分探しや将来の夢を見つけるきっかけづくりを支援するほか、家庭教育訪問支援や思春期の子育て講座を行うなど、子育て中の親への支援を行っています。

関わるのが大切

子どもの健やかな成長のためには、大人と子どもが心でふれあえる環境が大切なのではないでしょうか。そのためにも、子どもがさまざまな活動に参加できる場づくりも地域には必要になってきます。地域の自主的な活動によって、交流が深まり、そうした関わりの中で「地域の子どもは地域で守る」という一体感が生きてくるのだと思います。

私たちも、地域の子どもたちのために自分にもできることは何か。考えてみませんか。

地域で守る

子どもたちの安全

何か危険な目にあったとき、迷わず駆け込める「子ども110番の家」。これは、各地区の青少年健全育成協議会が、日中、人がいる商店や家の方の協力のもと、子ども登下校時などの安全を守ろうと実施しているもので、今年8月からは目印となるのぼりを市内統一にし、各地区に配布しています。

家庭や地域で子どもたちの安全にみなさんもご協力ください。



また、吉敷地区では地区住民が中心となって、吉敷地区セフティネットワークを立ち上げ、携帯電話のメール機能を使った情報発信や、登下校時の立唱など、学校、地域、保護者が一体となった取り組みが進んでいます。



スタッフがジャンパーを着て、子どもたちを待っています。朝夕と違って朝は子どもたちにとっても安心ですね。

平成16年度 上半期財政公表

山口市の財政運営についてみなさんに理解していただくために、平成16年度上半期（4月1日～9月30日）の財政状況を公表します。

◆一般会計

一般会計は当初予算473億1000万円です。スタートしましたが、その後、4億6511万5000円の追加補正を行い、9月末現在で総額477億7511万5000円となっています。

追加した補正予算の主な内容は、一般不妊治療費助成事業に750万円、中2中3少人数学級化支援事業に4293万8000円、平川小学校プレハブ校舎増築事業に2500万円、災害復旧事業に2億7050万円などです。

9月末現在の一般会計の歳入歳出状況は【表1】のとおりで、収入済率38・4パーセント、執行済率45・5パーセントとなっています。

【平成16年度に実施または着手した主な事業】

- 学校教育環境の充実
 - ・ 大歳小学校校舎増築事業
 - ・ 二島共同調理場整備事業

■一般会計の収支状況（9月末現在） 【表1】

歳入			歳出		
項目	予算現額 (万円)	収入済率 (%)	項目	予算現額 (万円)	執行済率 (%)
市税	1,854,434	54.0	議会費	35,436	49.4
地方譲与税	69,000	38.1	総務費	541,706	57.9
利子割交付金	16,000	26.0	民生費	1,100,300	37.0
配当割交付金	400	329.8	衛生費	499,179	60.1
株式等譲渡所得割交付金	400	1.0	労働費	11,211	82.8
地方消費税交付金	130,000	66.3	農林水産業費	164,622	33.6
ゴルフ場利用税交付金	2,800	39.4	商工費	151,994	76.2
自動車取得税交付金	26,000	34.2	土木費	848,788	37.7
地方特例交付金	58,950	106.5	消防費	143,634	91.2
地方交付税	631,400	61.4	教育費	450,702	55.5
交通安全対策特別交付金	2,500	55.9	災害復旧費	47,158	8.3
分担金及び負担金	54,943	41.0	公債費	869,787	33.9
使用料及び手数料	58,705	47.1	予備費	6,335	0.0
国庫支出金	429,613	26.1			
県支出金	223,164	17.2			
財産収入	13,786	30.1			
寄附金	238	29.4			
繰入金	262,010	0.0			
市債	828,100	0.7			
その他	208,409	37.3			
合計	4,870,852	38.4	合計	4,870,852	45.5

※予算現額には、平成15年度からの繰越額9億3,340万円を含んでいます。

■特別会計の収支状況（9月末現在） 【表2】

会計	予算現額 (万円)	収入済額 (万円)	執行済額 (万円)	執行済率 (%)
国民健康保険	933,970	355,925	552,113	59.1
老人保健	1,380,974	561,261	587,465	42.5
介護保険	747,487	296,355	307,836	41.2
下水道	635,955	72,933	364,981	57.4
土地取得	21,636	0	10,901	50.4
駐車場	5,309	1,969	3,093	58.3
農業集落排水	90,482	5,698	51,357	56.8
漁業集落排水	14,070	0	541	3.8
特別林野	2,210	604	491	22.2
合計	3,832,093	1,294,745	1,878,778	49.0

※予算現額には、平成15年度からの繰越額4億619万円を含んでいます。

■市有財産現在高 【表3】

区分	9月末現在高
土地	384万7,722.24 m ²
建物	35万6,846.50 m ²
山林	6,508.35 ha
立木	111万0,998 m ³
有価証券	8,495 万円
出資による権利	6億7,741万6,230 円
債権	3,104.09 m ²
基金	8億3,707万9,338 円
現金	97億5,653万6,691 円
土地	9,709.75 m ²

■市債の状況 【表4】

区分	9月末現在高
一般会計	631億4,271万円
特別会計	367億3,800万円
合計	998億8,071万円

に、一般会計と区別して経理するための会計で、それぞれの歳入歳出状況は【表2】のとおりです。

◆市有財産・市債
市有財産及び市債の9月末残高は【表3】【表4】のとおりです。

●財政一〇メモ 交通安全対策特別交付金

交通違反で納められた反則金は、国庫金として国に集められ、交通人身事故の件数、人口、道路延長等により計算された交付割合に応じて、全国の都道府県及び市町村に「交通安全対策特別交付金」として交付されます。

この交付金は、信号機、道路標識、歩道、道路反射鏡等の交通安全施設の設置や救急自動車等に使用され、交通事故防止のために役立てられています。

◆特別会計

特別会計は、公共下水道事業など特定の目的をもって事業を行う場合

- 生涯学習環境の充実
 - ・ 白石公民館建設事業
 - ・ 市民大学講座開設事業
- 大内文化のまちづくり
 - ・ 菜香亭管理運営事業
 - ・ 十朋亭保存活用事業
- 保健・福祉の充実
 - ・ 子育て支援交流広場事業
 - ・ 福祉総合相談窓口整備事業
 - ・ 在宅緩和ケア推進事業
- 新産業の創出
 - ・ 起業家育成センター運営事業
 - ・ ベンチャーハイスクール推進事業

【11月6日～12日は年金週間】 土日の年金相談実施と平日の時間延長を実施

◇場所 県内各社会保険事務所、防府年金相談センター
 ◇相談受付時間 11月6日(土)、7日(日)午前9時30分～午後4時/8日(月)～12日(金)午後7時まで
 ※各社会保険事務所では、年金の納付相談も行います。 ◇問い合わせ 山口社会保険事務所 (☎922-5662)



**市教育委員会教育長に
井上洋氏が再任**



井上洋教育長

10月5日(火)、教育委員任期の満了に伴い、井上洋氏、藏重恵昭氏が再任されました。委員の任期は4年で、平成20年10月4日までです。

また同日、井上洋教育長の任期満了に伴う教育長の任命について、山口市教育委員会(臨時会)が開催され、井上洋氏が再任されました。

**子育てに悩む方をサポート
家庭教育訪問支援を開始**



10月18日(月)から、子育てについて不安や悩みを持つ方に対して、訪問による相談や情報の提供等の支援を行う事業が始まりました。なお、家庭教育支援のために支援員を組織して訪問活動を行うのは、県内で初の取り組みです。

対象者は、市内在住の乳幼児から中学生までの子どもを持つ保護者です。市生涯学習課内の専用電

II 教育委員会とは? II

- ① 学校・公民館等の教育機関の管理
- ② 児童・生徒の就学等に関する事
- ③ 青少年教育や婦人教育などの社会教育に関する事
- ④ 体育に関する事
- ⑤ 文化財の保護に関する事務

などを行います。これらの事務は、委員会の会議で、教育行政の専門家である教育委員によって処理・決定されますが、広範囲にわたる教育行政を円滑に行っていくため、教育委員会には教育長がおかれ、事務処理の多くが委任されます。

◇問い合わせ 市教育総務課 (☎934-2859)

話での受付後、必要と内容に応じて県主催の養成講座を修了した「家庭教育支援員(19人を委嘱)」を相談者の自宅等へ派遣します。相談者が直接支援員と会って話をすることで安心し、不安や悩みが解消されることを目指します。秘密は厳守されます。どうぞお気軽にご利用ください。

◇家庭教育支援受付ダイヤル
 (月～金(祝日・年末年始を除く)の午前9時～正午、午後1時～4時の間 ☎928-3232 または ☎katel-support@city.yamaguchi.yamaguchi.jp)

秋季火災予防運動

11月9日(火)～11月15日(月)

平成16年に市内で発生した火災件数は、9月末現在36件で、昨年の31件に比べると5件増加しています。肌寒い日々を迎え、屋内外での火の取扱いも次第に多くなり、また風が強く、空気も乾燥し、火事が起こりやすい季節になりました。私たちの日常生活には、火は欠かすことのできないものですが、取扱いを誤ると、大変危険です。住まいの防火は、日々の用心と備えからです。防火に心がけ、生命や財産の損失を防ぎましょう。



1 住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

- 【3つの習慣】
- 寝たばこは絶対やめる
 - ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用
 - ガスこんろなどの側を離れるときは必ず火を消す
- 【4つの対策】
- 逃げ遅れを防ぐための住宅用火災警報器の設置
 - 寝具や衣類からの火災を防ぐため防災製品の使用
 - 火が小さいうちに消すための住宅用消火器の設置
 - お年寄りや身体の不自由な人を守るための、隣近所の協力体制の確立

火は消した? いつも心にきいてみて

2 放火火災予防

近年、放火による火災は出火原因の上位となっております。年々増加する傾向にあります。家の周囲に可燃物を放置しない等、火災を起こさせない環境づくりが心がけましょう。

3 消火器事故防止

消火器は非常に高い圧力で消火薬剤を噴出するため、錆による腐食や傷・変形のあるものは、その部分が圧力に耐えられず破裂する危険があります。このような古くなった消火器は、事故防止のために使用せず、販売店か専門業者にお引き渡しください。

4 住宅用火災警報器

火事が起きたとき温度や煙に反応して音を出し、居住者に知らせる器具です。実は、住宅の火事によって亡くなられた方々の半分以上は、気付くのが遅れるなどで避難が遅れたためです。この器具があれば、早く火災を見つけ、逃げ遅れを防ぐことができます。

問い合わせ 山口地域消防組合予防課 (亀山町2-1 ☎932-2601)

税を考える週間

11月11日～17日

積極的に税の仕組みや目的を「考え」ていただき、税に対する理解を深めていただくということで、従来の「税を知る週間」から改称しました。

消費税法が変わりました

平成15年度の税制改正で消費税法の一部が改正されました。

主な改正点は

- 事業者免税点制度の適用上限が引き下げられました（基準期間の課税売上高3,000万円→1,000万円）
- 簡易課税制度の適用上限が引き下げられました（基準期間の課税売上高2億円→5,000万円）

【ご注意ください】

- ・ 届出書の提出が必要
- ・ 記帳及び帳簿等の保存が必要
- ・ 17年分から申告と納税が必要

国税の電子申告・納税等をご利用ください

平成16年6月1日から以下のサービスがご利用いただけます。

- 所得税・個人事業者の消費税の申告
- 法人税・法人の消費税の申告
- 全税目の納税
- 申請・届出

■平成16年分年末調整説明会日程

期日	時間	対象者	場所	対象地域等
11月24日 (水)	午前10時～正午	個人事業者	小郡町公民館	嘉川・陶・佐山・鑄銭司・名田島
	午後1時30分～3時30分	法人		
11月25日 (木)	午後1時30分～3時30分	不問	秋穂町役場	秋穂二島
11月29日 (月)	午前10時～正午	個人事業者	市民会館大ホール	上記以外の地区
	午後2時～4時	法人		

なお、この週間にあわせ、納税思想の向上に顕著な功績をあげられた方々に対し、10月22日には県知事表彰が、11月11日には税務署長表彰・県税事務所長表彰が行われます。

◇問い合わせ 山口税務署 (☎922-1340)

「二島東・宮之旦地区農業集落排水事業」は、農業用排水の水質保全や生活環境の改善、農業地域における資源循環の促進を目的として平成13年度から進められ、総事業費は約8億4000万円です。事業の計画戸数は山口市が105

た。山口市と秋穂町の関係者らの立ち合いのもと、通水式が行われました。

二島東・宮之旦地区農業集落排水事業のテープカット式典が、10月8日(金)、秋穂二島地区の幸田・仁光寺集落と秋穂町の宮之旦集落の排水を処理する「二島東・宮之旦地区農業集落排水処理場」の稼働開始を記念し、山口市と秋穂町の関係者らの立ち合いのもと、通水式が行われました。



処理場前でのテープカット

二島東・宮之旦地区農業集落排水処理場通水式を開催

10月8日(金)

戸、秋穂町が64戸の計169戸です。

処理場の建物は鉄筋コンクリート造で、地上部に制御機器類、地下部に処理槽を配置し、小規模でも安定して処理できる方式を採用しています。

式典で挨拶



処理場内を見学する関係者ら

東地区農業集落排水推進委員会の委員長横沼利通氏は、「建物のつくりが周囲の風景に合っており、地元民に好評。今後この施設を生活環境の整備に大いに役立たせたい」と喜びを語りました。

◇問い合わせ 市農業整備課 (☎934-2823)



国民健康保険の届出について

※扶養から外れた場合も同様の手続きが必要で。

Q 他の保険に加入した場合、何か届出は必要ですか？

A 国保喪失の届出が必要です。新しい事業所では、新しい保険への加入手続きはしても国保喪失の手続きまではしてくれません。各自でお手続きください。

Q 国保の資格が切れているのに国保の保険証を使ってしまうのはどうなりますか？

A その間使われた医療費(自己負担を除く)を返還していただくこととなります。医療機関にかかるときは、使える保険証かどうか確認が必要です。

◇問い合わせ 市保険年金課給付担当 (市役所1階☎934-2801)

Q 会社を退社したとき、いつまで国民健康保険加入の手続きをすればよいですか？

A 退職後、14日以内です。14日を過ぎて手続きをすると、退職日の翌日(加入日)から届出日までにかかった医療費は全額自己負担となりますのでご注意ください。なお、保険料は届出月分からではなく、加入月分から納めることとなります。早めの手続きを心がけ、保険証がない状態で医療機関にかかるとのことないようにしましょう。

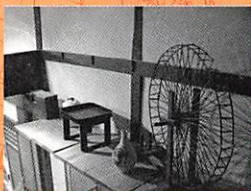


ほたる工房

約80年前に建てられた町屋に、今春新たな命が吹き込まれた。大殿大路にある「ほたる工房」。老朽化が進む中、歴史の残る古い建物をまちづくりに活かそうと、市の「町屋再生事業」で改装工事が施されました。

柱や梁に旧菜香亭の廃材を利用。古い日本家屋の良さを生かしながら、随所に現代的なセンスや山口的象徴・ほたるのモチーフが取り入れられ、大内文化を伝える、古き良き大殿のまち並みに彩りを添えています。現在はNPO法人デジタルアーカイブやまぐちの事務所として使われており、平日の午前9時～午後5時の間自由に見学することができます。

●問合せ先
083-995-3773 同事務局



昔なつかしい古道具や写真が並びます



10月6日、第1回やこねっとマガジン企画会議。集まった皆さんからいろいろなお意見をいただきました。

やこねっとマガジン 市民ボランティア 編集スタッフ募集!!

やこねっとが毎年一回発行する情報誌「やこねっとマガジン」には、毎年、たくさんの方々にご協力いただき、誠にありがとうございます。さて今年は、企画から市民の皆さんと一緒に考え、より面白く役に立つ情報誌を制作するため、やこねっとスタッフと一緒に活動するボランティアスタッフを大募集します。写真を撮るのが得意、文章を書くのが好き、アイデアがあるよ、というあなた、やこねっとに今すぐ連絡を！みんなで、山口市の魅力を伝える情報誌を作りませんか？
情報もお待ちしています！



人活動団体
イベント
etc.

山口のみんなが
元気になれる
情報を
お寄せください!!
お問合せ・情報は
お気軽にこちらまで!

詳しくはアクセスしてね!

携帯版はこちら!!

萩市出身

山口県立大学国際文化学部4年(22歳)

山根江理さん

やまねえり



「シベリヤ・シリーズ」で知られる画家 香月泰男(かづきやすお)「故人」山口県出身の生涯を描いた演劇「KAZUKI」(ここが私の地球)の山口公演実行委員長として、学生スタッフを取りまとめる山根江理さん。「山口県が誇る画家だからこそ、作品だけでなくその生涯についても知って欲しい」と、卒業論文の研究に追われながら公演の成功に向け奔走する山根さんにお話を聞きました。

■実行委員になったきっかけは?

今年の春に行われた社会人と学生の交流会で、この公演の話を書きました。当初、学生は当日のスタッフとして参加する予定でしたが、裏方のほとんどを任せたいだけになり、私が実行委員長をすることになりました。実行委員会の組織ができあがるまでは、一人で動くことが多く大変でしたが、今は県立大学と山口大学の学生約10人で、とても楽しく活動しています。

■この公演への想いを聞かせてください。

香月泰男さんの作品だけでなく香月さんがどう生き、何を思っていたのかを知って欲しいです。特に、戦争によって家族と引き裂かれた経験は、香月さんの戦後の作品や生き方に強く影響しています。戦争を知らない私たちにとって、家族は空気のような当たり前の存在になっています。もろいようで、本当は強い家族の絆について、舞台を通してもう一度考えてもらえればと思います。

■山根さんの目標を教えてください。

山口市は学生の多いまちだからこそ、もっと学生が文化の発信をしていけると

いいですね。まずはこの公演が、そのきっかけになればと思います。そこで今は公演の成功を目指し、多くの方に観に来ていただけるように、私自身も頑張ります！頑張った分、達成したときの喜びも大きいですし、その喜びをみんなまで感じたいです。

この公演を通して、たくさんの人に会えました。その出会いこそ私の財産です。

インフォメーション

「KAZUKI～ここが私の地球」

日時 11月15日(月)午後6時30分開場
午後7時開演

会場 山口市民会館大ホール
チケット料金 前売3,000円、当日3,500円
高校生以下1,500円(全席自由)

チケット取り扱い 市民会館、CS赤れんが
山口南総合センター
山口公演実行委員会
090-4106-4986

問い合わせ先
URL <http://www.rivers.jp/kazuki/>



市民まちづくり情報センターやこねっと

✉ yacopy@ycnet.jp

☎ 090-7120-0847

☎ 083-901-1165

〒753-0047 道場門前1-2-19
市民活動支援センター さほらんで内

<http://www.ycnet.jp/>
<http://www.ycnet.jp/i/>



山口市リサイクルプラザ
☎ 927-7122 ☎ 927-7133
http://www.c-able.ne.jp/~ymgplaza/
開館時間 午前9時から午後5時
資源物の受け付け
午前9時から午後4時30分
月曜と祝日の翌日はお休みです



これからは・・・ 身近にあるものを使って 環境にやさしいお掃除を！

年末大掃除の時期が近づいてきました。「そろそろ掃除道具や洗剤を買い足さなくちゃ」と思っておられるみなさん、手荒れが気にならない掃除のしかたをご存じですか。人間の肌にやさしいということは、動物にも環境にもやさしいということ。今回は、排水を汚さない、環境にやさしい掃除のしかたについて、やまぐちエコ倶楽部会員が実際に行った成果をご報告します。

体にも環境にもやさしい掃除のしかたとは？

環境にやさしい掃除のしかたとして、「重曹」と「クエン酸」を使用する方法があります。重曹は豆を柔らかく煮たり、パンを膨らませたりするのに使う粉末で、「タンサン」ともいわれます。クエン酸はレモンや梅干しの酸っぱさの成分を粉状にしたものです。これらは口に入っても安全なので、安心して使うことができます。小さな子どもがいる家庭や、室内でペットを飼っている家庭などにはお勧めです。これらは、スーパーや薬局で買うことができます。

**「手荒れに悩んでいたTさん
全然荒れなくなりました」**

エコ倶楽部会員のTさんは、3カ月ほど前から自宅の掃除をこの重曹とクエン酸で行っています。合成洗剤を使用していたときの手荒れ防止用のゴム手袋や、臭い対策で回していた換気扇は、全く必要なくなりました。「いままでは台所用、リビング用、トイレ用、お風呂用と、用途別にたくさんのお風呂用洗剤を購入していましたが、重

■重曹で磨いた鍋

磨く前



磨いた後



■Tさんも実践した、環境に優しい掃除のしかたの例

台所	場所	掃除方法
台	生ごみかご・シンク	全体に重曹をふりかけ、湿ったスポンジでこする。そのあと、クエン酸水（1カップに小さじ1杯）をスプレーする。
	換気扇・レンジフード等の油污れ	石鹼水をかけて、油污れを浮き上がらせ、重曹をふりかけてから、しめらせた布でふき取る。
鍋	黒こげ箇所をよく乾かし、重曹をスポンジに付けてこする。	
	カーペット	重曹は湿気を吸い取るので、しみを取るのに使う。落ちにくいときは石鹼水を使い布でたたく。
リビング	フローリング	ほこりを掃除機で取り、クエン酸水をスプレーしてすぐに布で拭く。
	ビニールの床	
トイレ	便器内部	重曹をふりかけて、ブラシでよくこする。
	便器まわり	便器まわりにクエン酸スプレーをして布でふき取る。
お風呂	タイル	タイルの目地は乾燥させておき、重曹をかけてブラシでこすり落とす。
	排水口まわりの水あか	クエン酸水を付けて、ブラシでこする。

※鍋の種類によっては使用できないものもあります。ご注意ください。

曹とクエン酸はすべての汚れに利用できます。しかも軽い力でピカピカになるので驚きました。写真は我が家の鍋。焦げつきがきれいにとれたのがわかるでしょう。

**これからの掃除は
賢く・簡単に・快適に**

重曹は油污れ、消臭・除湿に、クエン酸は水あかや石けんカスなどの汚れに効果があることを使用してみて実感したTさん。「汚れによって重曹とクエン酸を使い分ければ、快適にきれいになるし、排水も汚しません。日々の生活の中で実践できる環境対策、あなたもやってみませんか」

(企画 やまぐちエコ倶楽部)

■11月のリサイクルアイデア講座(午前10時～正午) (いつでも参加できます。申し込みはいりません)

モロで小物づくり	2(火)	ネクタイのリフォーム	11(木)25(木)
毛糸のリサイクル	5(金)19(金)	やさしいパッチワーク ※2	13(土)25(木)
布あそび	6(土)13(土)	牛乳パック工作(小箱)	14(日)
フラワーアレンジメント	6(土)20(土)	カントリードール(全2回) ※1	17(水)12/1(水)
ウールの着物から作業衣作り(全4回) ※2	6(土)20(土) 27(土)12/4(土)	余り布で作るコサージュ	18(木)
和服のリフォーム	9(火) 16(火)	かんたんリフォーム(ブラウス)	19(金)26(金)
トールペインティング ※1	10(水)17(水)	わらで作る米俵 ※1	23(火)
さき織り	11(木)18(木) 25(木)	牛乳パック工作(クリスマスブーツ)	27(土)

※持参品などの詳細は、市リサイクルプラザ、市役所、公民館にある「かわらばん」をご覧ください。

■11月のフリーマーケット

◇日時 11月14日(日)午前9時～午後3時(雨天中止)

※おもちゃの病院もあります(受付は午前10時～11時30分)

※12月のフリーマーケットは12月12日(日)です。出店の申し込みは、11月16日(火)午前8時30分から受け付けます(出店共益費300円)。



平成15年度「やまぐち観光写真コンテスト」の入賞作品約100点を展示します。
◇日時 11月3日(水)～7日(日) 午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)
◇場所 市菜香亭(天花1丁目2-7) ◇問い合わせ 市観光課(☎934-2810)



お知らせ

山口市役所 〒753-8650 亀山町2-1

高齢福祉年金を受給 しておられる方へ

平成16年12月期の高齢福祉年金の支払いは、11月11日(木)から開始されます。山口社会保険事務局から証書が届きましたら、郵便局で年金を受け取ってください。届いた証書は、平成17年4月の受け取り時まで大切に保管しておいてください。

◇問い合わせ 市保険年金課(☎934-2802)

山口市国民健康保険 被保険者証の更新

現在お使いの国民健康保険被保険者証・退職被保険者証の有効期限は、平成16年11月30日までです。

新しい被保険者証は、11月中旬に配達記録で郵送しますので、届きましたら旧被保険者証は各自で細かく切るなど処分をお願いします。なお、11月末日になっても被保険者証が届かないときは、市保険年金課(☎934-2801)へお問い合わせください。

◇更新期間 11月5日(金)～30日(火)

◇新しい被保険者証の色

一般：浅黄色／退職：はだ色

【遠隔地被保険者証(マル遠)】

新たに申請が必要ですので、新し

く届いた被保険者証を持参し、市保険年金課(市役所1階)または各出張所で手続きをしてください。なお、対象者が学生の場合は在学証明書(原本)が必要です(学生証は不可)。

◇業務内容 勤労者の福祉の充実と勤労意欲の向上、市民の交流の場となる事業の実施に関すること／貸館施設の管理業務に関すること／施設及び設備の維持管理に関すること など

◇業務内容 勤労者の福祉の充実と勤労意欲の向上、市民の交流の場となる事業の実施に関すること／貸館施設の管理業務に関すること／施設及び設備の維持管理に関すること など

更新の手続きがお済みの方には11月中旬に新しい被保険者証を郵送します。手続きがまだの方は、お早めに手続きをしてください。手続きをされない方と資格が切れ、12月1日から無保険の状態になります。なお、手続きには在学証明書(原本)が必要です(学生証は不可)。

◇受付期間 11月22日(月)

◇お問い合わせ 市商工振興課(☎934-2719)

山口勤労者総合福祉センター 指定管理者の募集

平成17年4月1日から、山口勤労者総合福祉センター「サンフレッシュ山口」(湯田温泉五丁目5-22)の管理運営を行う指定管理者を募集します。

◇募集概要
◇委託期間 平成17年4月1日～平成18年3月31日

◇応募資格 市内に主たる事務所・事業所等を有する法人その他の団体

◇業務内容 施設管理業務、相談業務、人材養成業務、普及・啓発及び情報収集・提供業務など

◇指定期間 平成17年4月1日～平成20年3月31日

◇申し込み・問い合わせ 市地域生活課(☎934-2763)

市民活動支援センター 管理運営団体の募集

開館3年目が経過する山口市市民活動支援センター「さぼらんて」(道場門前二丁目2-19)の管理運営を委託するNPO法人(取得予定を含む)を募集するにあたり、説明会を開催します。

◇日時 11月13日(土) 午後2時

◇場所 市防災センター2階会議室(亀山町2-1)

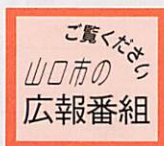
◇申込期限 11月11日(木)

◇業務内容 施設管理業務、相談業務、人材養成業務、普及・啓発及び情報収集・提供業務など

◇申し込み・問い合わせ 市地域生活課(☎934-2763)

県央部1市4町合同特別番組(山口ケーブルテレビ)
午前7時45分(月・火・木・金・日)、午後零時15分(月・水・木・土・日)、午後6時15分(火・水・金・土)、午後10時(月・火・木・金・日)から30分間
○1日～15日「新市の未来を描く～新県都のまちづくり計画(案)～」

山口のんた情報(山口ケーブルテレビ)
午前7時45分(月・木・日)、午後零時15分(水・土)、午後6時15分(火・金)、午後10時(月・木・日)から20分間
○16日～30日
「ひと・まち・自然が輝き、未来を拓く新県都」



11月の放送
予定です

やまぐちしま専科(山口朝日放送)
毎週水曜日、午後1時55分から4分間
○3日 「山口情報芸術センター1周年」
○10日 「犬のしつけ教室」
○17日 「健康シリーズ 糖尿病予防①」
○24日 「栗林和彦の大内文化探訪」

わたしたちのまち山口(テレビ山口)
毎週日曜日、午前11時40分から4分間
○7日・14日「山口市菜香亭のご紹介」
○21日・28日
「マナーを守ってきれいなまちに
～犬の飼い主さんへ～」

地域交流「3B体操」無料体験

◇日時 11月25日(木) 午後2時~3時30分 ◇場所 ふしの会館(三和町3-3)
 ◇対象 市民25人(先着順・高齢者に限る) ※運動のできる服装で上履きとタオルを持参ください。
 ◇申し込み・問い合わせ 山口隣保館(☎922-7055)

山口市人権ふれあい
フェスティバル

◇日時 12月4日(土) 午後1時~4時

◇会場 ぱ・る・るプラザ山口(惣太夫町1-15)

◇入場料 無料(入場整理券が必要です。11月10日から、市役所1階受付、各公民館、山口地方法務局人権擁護課でお渡しします)

◇内容 湯田幼稚園マーチングドリル&人権イメージキャラクター、大内吹奏楽団によるオーブニングアトラクション/中学生の人権ボスター、作文の表彰/講演「法こそ我々の味方」行列のできる弁護士が語る」講師 丸山和也氏

◇問い合わせ 市人権推進課
 (☎934-12867)



丸山和也氏

第5回
西京歴史フォーラム

◇シンポジウム(11月20日午前10時~午後5時)

◇場所 ぱ・る・るプラザ山口(惣太夫町1-15)

◇内容 基調講演「中世城館跡の保存と活用」/事例報告「島根県富田城跡」「広島県方徳院跡」「愛媛県湯築城跡」「山口県大内氏館跡」/パネルディスカッション

◇定員 400人(先着順)

◇市内文化財バスツアー(11月21日午前8時30分~午後零時30分)

※20日のフォーラム参加者に限る。

◇行き先 大内氏館跡、瑠璃光寺五重塔、常栄寺庭園(雪舟庭)

◇定員 50人(先着順)

◇いずれも

◇参加料 無料

◇申し込み・問い合わせ 11月12日(金)までに、ハガキ、FAX、Eメールで〒住所、氏名、電話番号、21日のバスツアー参加希望の有無を明記の上、市文化財保護課

(〒753-0073 春日町5-1 ☎920-4111 内 ☎920-4112) bunkazai@city.yamaguchi.jp

スパー卓球フェスタ

アテネ五輪で活躍した梅村礼選手らによるフリートークや直接指導などを行い、エキシビジョンタイムでは、一流選手の技とスピードをご覧いただけます。梅村選手への挑戦コーナーもあります(人数制限があります)。

◇日時 11月21日(日) 午後1時~4時(午後零時30分開場)

◇場所 やまぐちリフレッシュスパ

クマ出没にご注意を!

全国各地でクマの出没が多発しており、市内でも先日、吉敷や仁保山中でクマが捕獲されています。人身事故や農作物への被害防止のため、次の点に気をつけてください。また、野生のクマを確認された場合は、下記問い合わせ先までお知らせください。

- ❗ エサとなるものを屋外に置かない(人里での食料の味を覚えさせない)
- ・生ごみは決められた時間と場所に、鳥獣に取られないようにして出す。畑に放置したり、安易に屋外に置かない。
- ・家庭果樹園の果実は早めに収穫する。
- ・山中等にあるお墓のお供え物は持ち帰る。 など

- ❗ 山に入る際には、なるべく複数人間が一緒に、鈴やラジオ、草刈り機等により適度な音を発生させながら行動する(クマに人間の存在を知らせる)。

◇問い合わせ 市環境保全課(☎934-2775)/県山口農林事務所(☎922-6700)/山口警察署(☎924-0110)/小郡警察署(☎083-972-0110)

おもてなしの心を大切に
市民観光講座

◇受講料 無料
 ◇定員 30人(応募者多数の場合抽選)

◇申し込み・問い合わせ 11月8日(月・消印有効)までに、ハガキ

ク(大内御堀1107)
 ◇入場料 大人1000円(前売り800円)、小人(高校生まで)500円(前売り400円)
 ※前売り券取扱所 市体育課(市役所3階)、各公民館、やまぐちリフレッシュパーク、サンフレッシュ山口(湯田温泉五丁目5-22)、山口南総合センター(名田島1218-1)
 ◇問い合わせ 市体育課(☎934-2874)

期日	テーマ・講師(敬称略)	会場
11月13日(土)	◆山口のお祭り「山口天神祭のみどころ」古熊神社 宮司 真庭宗雄	古熊神社事務所(古熊一丁目10-3)
11月27日(土)	◆山口の伝統の味覚「歴史と味に迫る」中原中也記念館 館長 福田百合子	豆子郎「茶蔵庵」(大内御堀33)
12月4日(土)	◆白狐が見つけた湯田温泉「温泉の上手な入り方」温泉療法士・ゆきこクリニック院長 那須野友規子	サンフレッシュ山口視聴覚室(湯田温泉五丁目5-22)
12月11日(土)	◆山口の伝統芸能「突演・山口鷲流狂言」山口鷲流狂言保存会のみなさん	大殿公民館

■時間 午後1時30分~3時(27日は午前10時~11時30分)

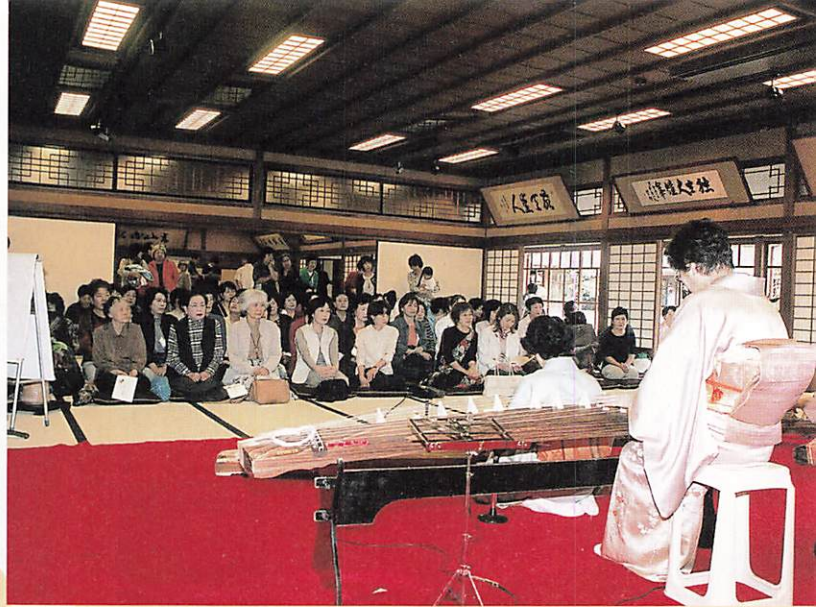
キ、FAX、Eメールで、〒住所、氏名、電話番号、年齢、市民観光講座受講希望と明記の上、市観光課(☎934-2810 内 ☎934-2649) kanko@city.yamaguchi.jp

カメラさんぽ



水がきれいになるしくみがわかったよ

水の大切さや河川の環境等に関心を持ってもらおうと、市水道局主催で「親子ペア上下水道施設見学会」が開催されました。参加者たちは実際に処理水を試飲するなどして、理解を深めていました。(10月16日)



甦った菜香亭の晴れ舞台

山口市菜香亭が10月2日に開館しました。この日アートふる山口の会場となった館内では、和楽器や吹奏楽の演奏、伝統工芸の実演、手作り品の展示販売など、市民の文化活動が披露され、来場者の目を楽しませました。(10月2日)



山口のお祭り、伝統を学びました

大殿小学校5年生の児童が、山口祇園祭で毎年披露される祇園囃子を習いました。締太鼓、鉦、そして能管の代わりとしてリコーダーを使い、11月5日の校内音楽祭で合奏を披露する予定です。(10月18日)



我が家の分別方法を再確認!

市とやまぐちエコ倶楽部の共催で、恒例のやまぐちエコパークまつりが行われました。あいにくの雨天にも関わらず、来場者はリサイクルバザーや分別挑戦コーナーなどを体験し、楽しみながら環境について学んでいました。(10月10日)

表紙写真説明「第47回山口市美術展覧会入賞作品」

第47回山口市美術展覧会の表彰式が9月25日にC・S赤れんがで行われ、応募総数278点の中から大賞1点・準大賞1点・赤れんが賞2点・山口文化協会賞2点・奨励賞10点の計16点が受賞しました。なお、作品は10月11日まで、C・S赤れんがで展示されました。おめでとうございます。

受賞者(敬称略)

●大賞(表紙写真1)

《洋画》井上広之

●準大賞(表紙写真2)

《洋画》橋口仁

●赤れんが賞(表紙写真3・4)

《日本画》竹本高義(写真3)

《写真》前川香代子(写真4)

●山口文化協会賞(表紙写真5・

6)

《洋画》片山雄一(写真5)

《洋画》村田宣子(写真6)

奨励賞

《日本画》村前純子

《洋画》山本大丈夫・光永透

《彫刻》ハセガワタカシ

《工芸》砂子智子・長廣裕夫

藤本満紀子

《書》富村たかえ

《写真》弥源治元子・津高弘

2	1	
3		
4	5	6